

令和7年度 学校経営計画・自己評価書

足立区立寺地小学校

校長 松下 由紀子

1 学校教育目標

・進んで考える子ども ・責任をもって働く子ども ・健康で明るい子ども ・礼儀正しい子ども

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○人、物、価値との出会いを通して児童の夢や意欲を育む学校 ○安全安心に学べる環境のもと、児童が笑顔で帰宅し、明日の授業を楽しみにする学校 ○常に情報発信し、家庭・地域の信頼を得て、連携した教育活動に取り組める学校
○児童・生徒像	○学習規律が定着し、基礎・基本をもとに意欲的に学習する児童 ○よりよい集団を目指し、積極的に行動する児童 ○体力向上に努め、笑顔で生活する児童 ○道徳的判断力を身につけすすんで実践する児童
○教師像	○自らが模範であることを意識して、情熱と向上心をもって教育に取り組む教師 ○児童と向き合い、寄り添いと励ましをもって成長を見守る教師 ○社会人、公務員として責任をもって職務遂行する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

◎学校の現状

1年生のみ3学級の全部で13学級、児童数347人である。明朗で素直な児童が多い。平成23年度より取り組みを始めている3名人指導（挨拶名人、靴揃え名人、廊下歩き名人）を生活指導の柱としており、学校生活の中で上級生が下級生を指導したり、模範を示したりすることが全児童への徹底に繋がっている。教員は、校内での種々の研修はもとより、足立区教育研究会の研修や、小中連携教育を軸に指導力向上に努めている。

○前年度の成果

- ・主に算数において基礎的・基本的な内容の定着を目指して朝学習や寺地タイムに取り組んできたことが、少しずつ成果として表れている。
- ・社会力育成を目指して、外部との協力・交流授業を多数実施したことで社会の良識やマナーを意識し実践する児童が増えている。

○今後の課題

- ・基礎的内容の着実な理解とともに活用力を育む学習を全学年で共通実践することが課題である。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	社会力の育成	○	○	○	○	○
3	健康な児童の育成	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
学力向上		区学力調査通過率で国語算数共に 8 0 %以上 ワークテスト正解率全学級 8 0 %以上				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全学年	授 業 公 開 (年 4 回)	【指導者】全教員 【目的】足立スタンダードを軸とした教師の授業力向上	授業に関する 保護者・児童 アンケート	保護者・児童ア ンケートで満 足度 85%以上	自己評価の際に記入		
2 継続	寺地タイム A I ドリル	全学年 国語 算数	年 15 回	【指導者】全教員 【目的】基礎基本の定着・説明文の読み取り、要約 【教材】(前半)新聞読解プリント(後半) AI ドリル	ワークテスト	正解率 80%以上			
3 継続	朝学習	全学年 国語 算数	始 業 前 火水金 10分	【指導者】担任 【目的】基礎学力の定着・読解力・記述力の向上・図形、数の領域、作図、文章題の習熟 【教材】αドリル	確認テスト 2月校内調査	通過率 75%以上			
4 継続	家 庭 学 習 の 充実	全学年 漢字 算数 音読	年 3 回 6月10月 1 月	【指導者】担任 【目的】・計算、言語領域の習熟 【方法】家庭学習強化月間とし、保護者に呼びかけ、宿題の提出率を確認する。	宿題提出状況 調査	90%以上の 提出率			

5 継続	校内研究	全学年 算数	通年	・小中連携 ・ICTの活用 ・低中高研究授業	授業観察 教科指導専門 員指導 ワークテスト	児童アンケート で満足度 90%以上 正答率向上	
6 継続	学校図書館 の利用	全学年	通年	【指導者】担任・ボランティア 【方法】・読み聞かせ ・読書旬間の推進活動 ・調べ学習・発表まとめ	貸出数記録 読書通帳 記録カード 活動内容	学校図書館基 本計画目標値 達成	

重点的な取組事項－2		社会力の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
社会力の育成		児童アンケートによる「自己肯定感」「言葉遣い」「人間関係」の総合満足度を前年度より増加させる。	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み			自己評価の際に記入		
項目	達成基準	具体的な方策			
3 名人指導 挨拶名人 廊下歩き名人 靴そろえ名人	全学年 90%以上の達成	3 つの名人の実践を定期的に奨励し、年 2 回状況調査をする。 児童アンケート			
自己肯定感 社会貢献意欲の育成	児童アンケート肯定的回答 自己肯定感 70% 言葉遣い 92% 人間関係 94%	児童アンケート 学校行事 異学年交流 (R5 年度を上回る回数) クラブ、委員会活動			
外部との交流 出前授業の有効活用	各学年年間 4 回以上の実践	幼保小交流 高齢者施設交流 企業や教育関連団体の 出前授業			

重点的な取組事項－３		健康な児童の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心身の健康指導の充実		体力調査都の平均を上回る種目 8 割以上及び児童・保護者アンケートの関連項目 肯定的回答 9 0 %以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力の向上	体力テストの 8 割以上の種目で都の平均を上回る	体育集会 投力向上授業（5、6年） なわとび週間 持久走週間	自己評価の際に記入		
健康指導の充実	児童・保護者のアンケートによる「健康」項目の肯定的回答 9 0 %以上	保健授業 安全指導 食育指導 衛生チェック 残滓チェック			
安心できる環境	保護者アンケートによる「安心」項目の肯定的回答 9 0 %以上	情報モラル・人権・道徳教育 Hyper-QU の活用 いじめアンケート（年 3 回） 体罰調査 安全点検・環境整備 ステップアップシート作成 関係機関との連携			
いのちの学習の推進	月 1 回「いのち」に係る学習に取り組む	各教科や道徳、特別活動等での（いじめ、自殺予防、交通安全、セーフティ教室、災害対策等）実施			